

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年2月18日(2016.2.18)

【公開番号】特開2016-324(P2016-324A)

【公開日】平成28年1月7日(2016.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-001

【出願番号】特願2015-169933(P2015-169933)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月30日(2015.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明の課題は、効率良く開発を行うことができる遊技機を提供することにある。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

以上の課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明は、

複数の画像を表示可能な表示部を有する表示装置と、

遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、

前記遊技制御手段からの制御コマンドに基づいて、演出制御を行う第 1 演算処理装置を搭載した第 1 制御手段と、

前記第 1 制御手段からの演出制御コマンドに基づいて、前記表示装置における表示制御を行う第 2 演算処理装置を搭載した第 2 制御手段と、

を備えた遊技機において、

前記第 1 制御手段又は前記第 2 制御手段からの情報を外部の装置へ出力可能な検査用情報出力手段を備え、

前記第 1 制御手段は、

前記検査用情報出力手段を介して前記情報を外部の装置へ出力可能か否かを判定する判定手段を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

請求項 1 に記載の発明によれば、検査用情報出力手段を備えることによって、第 1 制御手段又は第 2 制御手段からの情報を外部の装置へ出力可能となるので、効率良く開発を行うことができる。

【手続補正 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0008
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0009
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0010
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0011
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0012
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0013
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 10】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 11】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 12】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0016
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 13】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0017
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明によれば、効率良く開発を行うことができる。

【手続補正 15】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の画像を表示可能な表示部を有する表示装置と、

遊技を統括的に制御する遊技制御手段と、

前記遊技制御手段からの制御コマンドに基づいて、演出制御を行う第 1 演算処理装置を
搭載した第 1 制御手段と、

前記第 1 制御手段からの演出制御コマンドに基づいて、前記表示装置における表示制御
を行う第 2 演算処理装置を搭載した第 2 制御手段と、

を備えた遊技機において、

前記第 1 制御手段又は前記第 2 制御手段からの情報を外部の装置へ出力可能な検査用情
報出力手段を備え、

前記第 1 制御手段は、

前記検査用情報出力手段を介して前記情報を外部の装置へ出力可能か否かを判定する判
定手段を備えることを特徴とする遊技機。